

第 22 回日韓国際シンポジウムの日程および報告者募集のお知らせ

以下のとおり、第 22 回日韓国際シンポジウムを開催いたします。会員の皆様の参加を期待します。なお、報告を希望される方は、下記の要領にしたがってお申し込みください。

- 1) 日 程 : 2016 年 7 月 9 日 (土)
- 2) 場 所 : 日本大学法学部三崎町キャンパス 本館 2F
〒101-8375 東京都千代田区三崎町 2 丁目 3 番 1 号
<http://www.law.nihon-u.ac.jp/access.html>
- 3) テーマ : 「メディアと政治、再考」
- 4) 趣 旨

本シンポジウムのメインテーマとして政治を掲げるのは、第 10 回「ジャーナリズムと政治」(2002 年、西江大学) 以来である。

近年若年層の保守化が叫ばれている。特にネット上の民族主義的発言・発言者を示す「ネトウヨ(ネット右翼)」現象は、日本だけの話でなく東アジア全般のナショナリズム強化現象としても議論されつつある。日本では SEALDs という団体に学生が多く含まれていることから、若年層の民主的アクションに注目が集まっている。日韓の若年層の政治参加・選挙行動など政治的プロセスにおけるメディア利用行動やネット上のナショナリズムに関する言説研究など、SNS やインターネットに特化するものではなく、今日の若年層の政治コミュニケーションを視野に入れつつ、両国関係改善のための提案がなされる有意義な場になることが期待される。

ただし、若者層に限ることとしない。両国の中老年世代の政治意識や投票行動がむしろ全体の政治地勢に大きな影響を及ぼしているところも着眼したい。日韓の政治には「ナショナリズムと歴史認識」が深く絡んでいるとも含まれる。

例として「歴史認識」「ナショナリズム」「民族主義」「若者世代」「投票行動」「政治参加」などのキーワードを示しますが、応募に際し限定するものではありません。

【共同研究セッション】

- (1) ドラマ・マンガにおける「食」表象に見る日韓社会
- (2) 北朝鮮はどのように“公共の敵”となったか？

【第 I セッション】研究発表報告・討論

【第 II セッション】研究発表報告・討論

【第 III セッション】総合討論

2セッションの報告者、討論者に数名の登壇者を加えて、「政治とメディア」について討論を行う。全体を通して、メディアの役割と責任を考えることは、日韓相互理解を促す上で有益な試みとなろう。

5) 報告者2名の募集

報告を希望される方は報告タイトルと要旨400字程度を国際担当理事・鈴木雄雅まで電子メールでお送りください。Email: HAF00025@nifty.ne.jp 締切日4月15日(金)

なお、報告を申し込まれる方は、申込締め切り日までに2015年度分までの会費納入済みであること。また、採否については4月下旬までにご連絡しますので、報告者に内定した方には6月17日(金)までに報告原稿(日本語、A4用紙8枚程度、英文サマリーA4用紙1枚)を提出していただきます。

(2016年度日韓国際シンポジウム実行委員会)